

「ボランティアサロンの利用について」の調査結果について

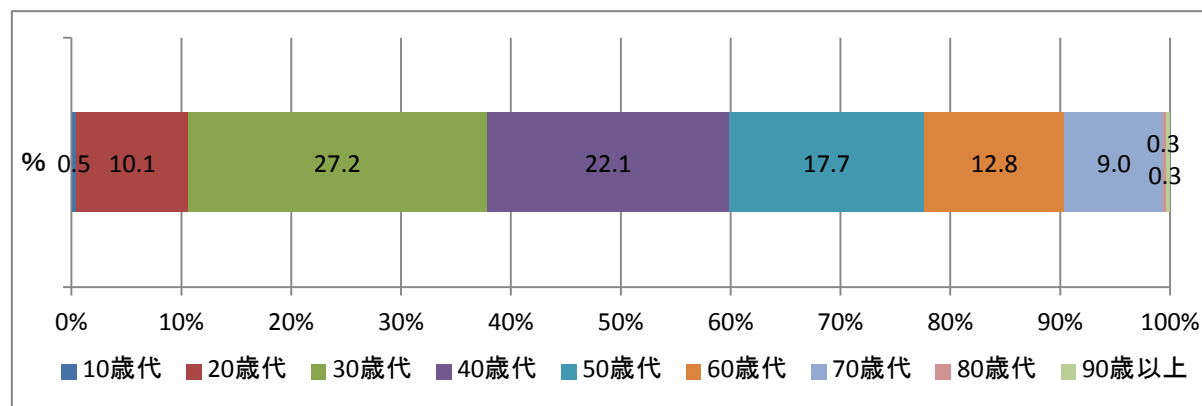
□調査期間 平成27年1月20日～平成27年1月30日

□調査の趣旨 和歌山市では「和歌山市NPO・ボランティアサロン」を設置し、ボランティア登録をしている団体や個人に「和歌山市NPO・ボランティアサロン」の会議室等の貸出しや、印刷機等の設備の貸出しを行うとともに、ボランティア活動保険制度を設け、市民公益活動を支援しています。「活動の拠点」、「情報の集積場所」、「交流の場」、「行政の窓口」等として、市民公益活動をされている皆様にまだまだ有効的に活用していただきたく、皆さまのご意見をお聞きしたいので、アンケートを実施しました。

□対象者数 367 人(平成27年1月20日現在)

(図および表中の比率は、小数点第2位を四捨五入して表示しています。したがって、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。)

内訳	人数	%
10歳代	2	0.5
20歳代	37	10.1
30歳代	100	27.2
40歳代	81	22.1
50歳代	65	17.7
60歳代	47	12.8
70歳代	33	9.0
80歳代	1	0.3
90歳以上	1	0.3
合計	367	100.0

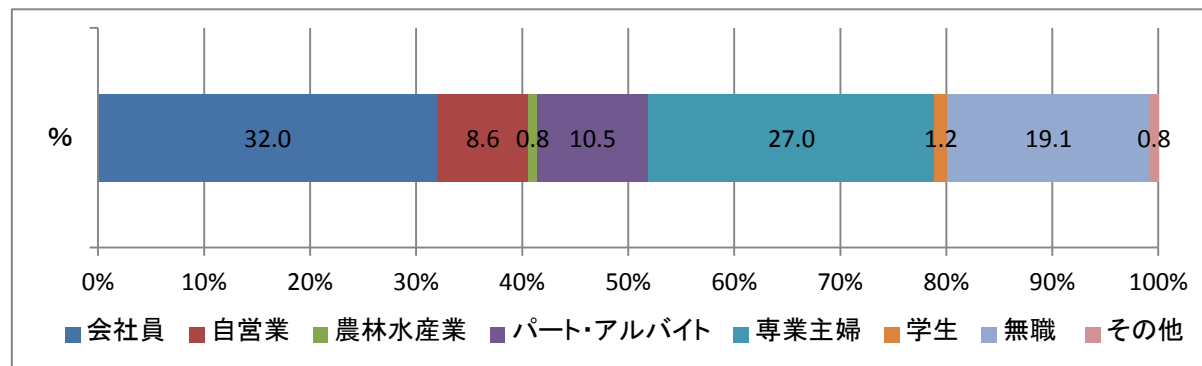


□回答者数 256 人

□回答率 69.8 % (平成27年1月30日時点)

【ご職業】

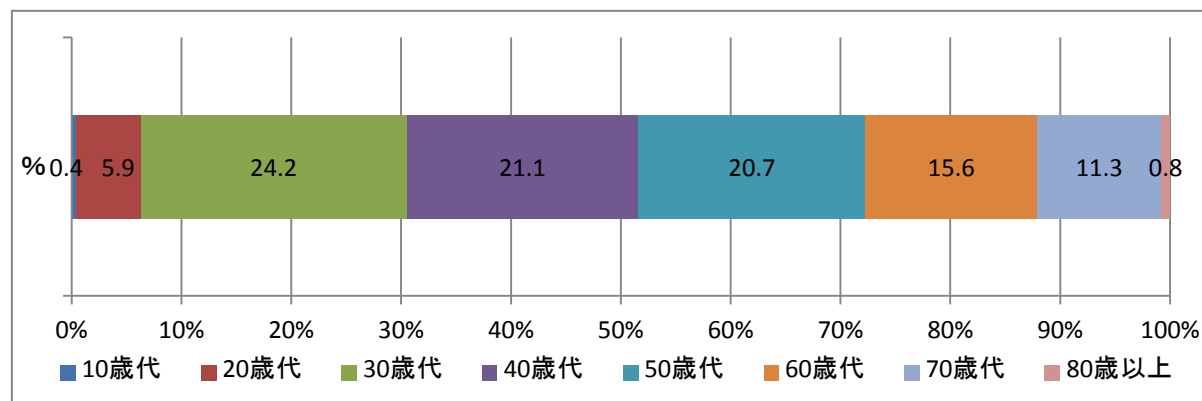
内訳	人数	%
会社員	82	32.0
自営業	22	8.6
農林水産業	2	0.8
パート・アルバイト	27	10.5
専業主婦	69	27.0
学生	3	1.2
無職	49	19.1
その他	2	0.8
合計	256	100.0



その他のご職業
 ・団体職業
 ・NPO団体理事

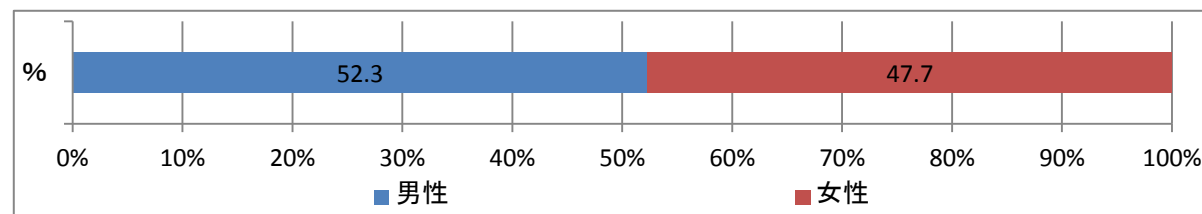
【年齢】

内訳	人数	%
10歳代	1	0.4
20歳代	15	5.9
30歳代	62	24.2
40歳代	54	21.1
50歳代	53	20.7
60歳代	40	15.6
70歳代	29	11.3
80歳以上	2	0.8
合計	256	100.0



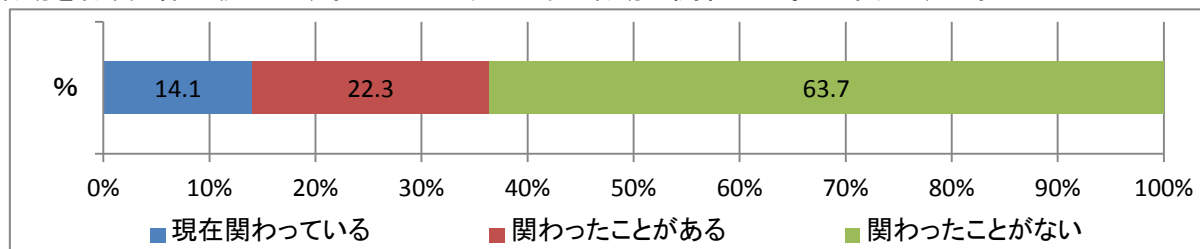
【性別】

内訳	人数	%
男性	134	52.3
女性	122	47.7
合計	256	100.0



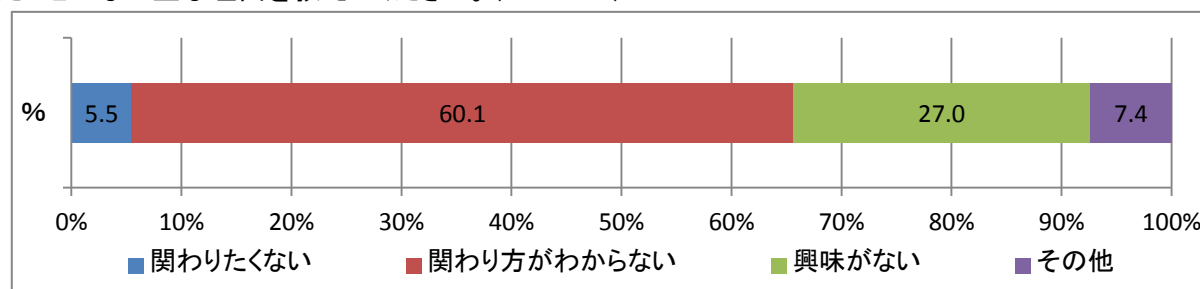
問1 NPOやボランティアとは、市民が自発的に行う公益的で非営利の活動を行う団体や個人です。NPOやボランティア活動に関わった事がありますか。

回答	人数	%
現在関わっている	36	14.1
関わったことがある	57	22.3
関わったことがない	163	63.7
合計	256	100.1



問1-1 「関わったことがない」と回答された方にお聞きします。関わったことがない主な理由を教えてください。(n=163)

回答	人数	%
関わりたくない	9	5.5
関わり方がわからない	98	60.1
興味がない	44	27.0
その他	12	7.4
合計	163	100.0

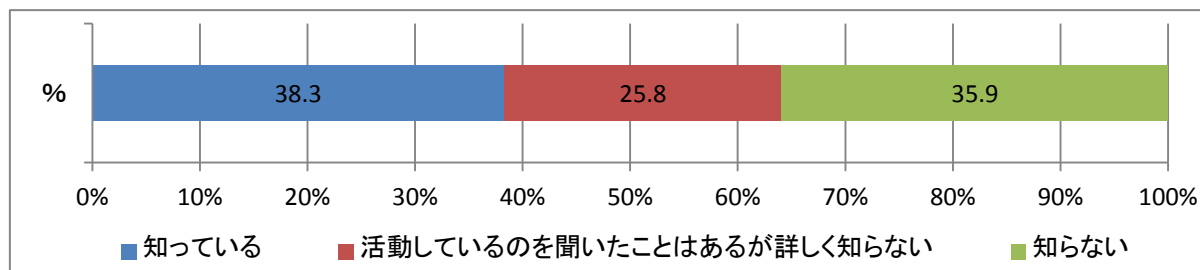


問1-1-1 その他と回答された方は、詳しくご記入ください。(必須回答)

- ・かかわる機会が少ない。
- ・自治会やPTAで忙しいから。
- ・子供が小さいから。
- ・参加したい気持ちはあるが、積極的に踏み出せない。
- ・機会がなかった。以前は仕事、現在は育児で手一杯。
- ・NPOやボランティア活動は一般社会事業の妨げになっている部分があるから。
- ・仕事をしていて時間がない。ボランティアには関心があります。
- ・子どもが小さいため、関わる時間がなかなかとれないから。
- ・自分が思う視点と違うものばかり。ボランティアより現実派なのでビジネス展開を考えられるやり方に興味あり。
- ・病気による身体障害者のため。
- ・家族の介護をしなければいけないので。
- ・特に機会がない。

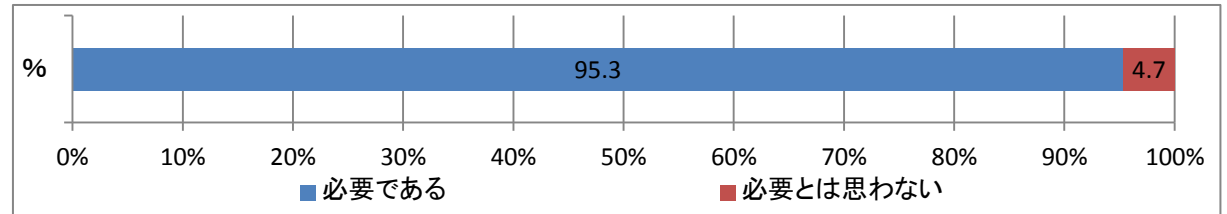
問2 NPOやボランティアで活動している団体や個人を知っていますか。

回答	人数	%
知っている	98	38.3
活動しているのを聞いたことはあるが詳しく知らない	66	25.8
知らない	92	35.9
合計	256	100.0



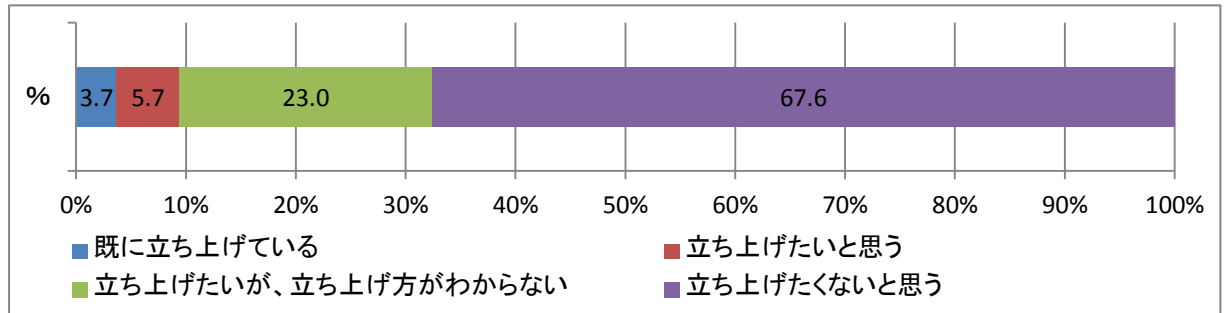
問3 NPOやボランティアは必要だと思いますか？

回答	人数	%
必要である	244	95.3
必要とは思わない	12	4.7
合計	256	100.0



問3-1 必要であると回答された方にお聞きします。自分でNPOやボランティア団体を立ち上げたいと思いますか。(n=244)

回答	人数	%
既に立ち上げている	9	3.7
立ち上げたいと思う	14	5.7
立ち上げたいが、立ち上げ方がわからない	56	23.0
立ち上げたくないと思う	165	67.6
合計	244	100.0

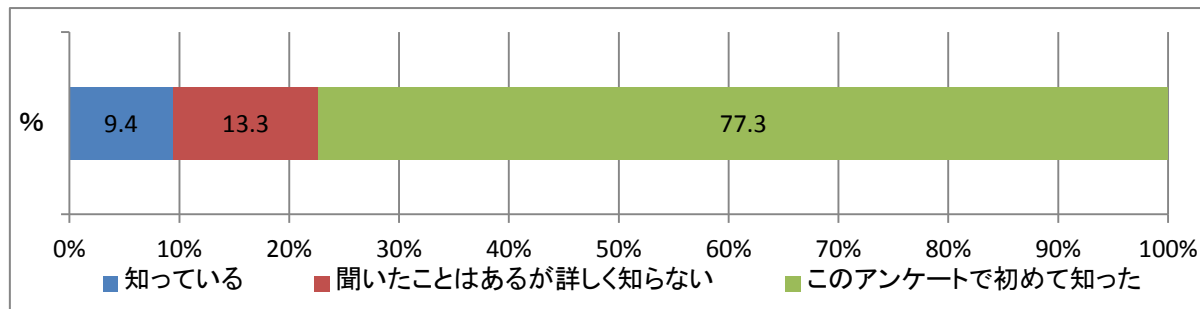


問3-2 必要とは思わないと回答された方は、理由をご記入ください。(必須回答)

- ・何があるのかわからないので。
- ・身近にないから。
- ・人を助けると言う視点でのボランティアは必要だけど、NPOは一部を除いてやっていることがさっぱり理解できない団体が多すぎて不必要としか感じない。
- ・NPOやボランティアと言って活動している団体は非営利団体とはいえ少なからずともお金が動いており、その動きが不透明である。
- ・ボランティアが人件費抑制に使われ、若者の労働力が搾取されていることを公然と肯定するシステムだから。
- ・マジメにやっている人もいると思うけど、中には制度を悪用してるような人達もいると思うから。それだったらなくてもいいと思う。
- ・きちんと活動しているところもあるんだろうが、街中などで募金を募る団体で怪しい団体もあつたりして、本当にきちんと活動しているのか不明だから。
- ・NPOやボランティア活動は一般社会事業の妨げになっている部分があるから。
- ・やってる人の自己実現目的というのはアリだと思うが、使う側から無償あるいは低コストの労働力だと思われるのはうれしくない。
- ・何をしているのか、実態がわからない。
- ・利権の温床になっている。

問4 市民協働推進課にボランティア登録をしていただきますと、和歌山市NPO・ボランティアサロンを活用でき、ボランティア募集の情報やボランティア活動の案内をさせていただきます。知っていますか。

回答	人数	%
知っている	24	9.4
聞いたことはあるが詳しく知らない	34	13.3
このアンケートで初めて知った	198	77.3
合計	256	100.0



問5 NPOやボランティアについて、ご意見等ございましたらご記入ください。(この設問は任意回答です。また、いただきましたご意見等への回答はできませんので、ご了承ください。)

- ・一覧表の表示をしてほしい。
- ・市の強力な支援を期待。
- ・NPO団体はどうも胡散臭い。
- ・市からの助成金が少ない。
- ・すみません。興味がないので・・・
- ・NPOは怪しそうなもの多いから、きっちり調べてほしい。
- ・必要な人に必要な場所を提供する、いい活動だと思っています。
- ・もう少し詳しい情報を市報わかやまなどで教えてもらえると助かります。
- ・ボランティアはやってみたい。手続きとかも簡単にしてほしい。
- ・今現在、市民農園は契約の時だけしか活動していない。ずるい。
- ・このアンケートで知ったので、もっと広くアピールした方がいいと思う。
- ・ボランティア登録をしなくても情報を知ることができるように、市報などで紹介してほしい。
- ・忙しいので参加は出来ないが、高齢者の参加や趣味として活動する人がいても良いと思う。
- ・本町小学校の跡地にボランティアサロンを設置してほしい。
- ・現在ゴミ掃除のボランティアをやっています。NPOについていろいろ教えてもらえるなら知りたいですね。
- ・とても興味があります。ニュース和歌山やリビング和歌山、市報に掲載されれば、参加してみたいです。
- ・もっと気楽に参加できるボランティア活動の仕組みがあればいいと思う。(回覧板、市報、新聞公告等)
- ・ボランティアを必要としているところがたくさんあると思います。市は積極的に支援すべき。
- ・市民活動の中心は市東部寄りになっており、且つ車での利用が不便なワジマへの設置に疑問。
- ・今回、初めてボランティアの登録について知りました。機会があれば参加しても良いと思いました。
- ・NPOやボランティアは、活動資金を行政に頼らない形であればよいと思う。資金が立ち行かない活動は続かない。
- ・「問3-1自分でNPOやボランティア団体を立ち上げたいと思いますか。」について、自分が立ち上げたわけではないですが関わっている。特にイベント系の団体での活動です。
- ・今年で定年を迎えることもあり、ボランティアに関心があります。新たな生きがいにも通じると考えています。
- ・NPO団体に不祥事や不正請求等の話もあり、全面的に信用出来ない、十分な監視が必要。
- ・ボランティアサロンは大変有難い施設であり、自発的な市民活動を根底で支援して頂いています。
- ・関わり方がよくわからない。
- ・公共を通じもっとアピールすればいいと思う。
- ・活動しているのを、もっとみんなに知らせるべき。
- ・具体的に誰のために何をしたらいいの？
- ・ボランティア登録をさせて頂きたいと思いました。
- ・現地への送迎の有無等、詳細に知りたい。
- ・高齢者はボランティア活動できるのか心配。
- ・ボランティアサロンってなんですか？
- ・ボランティアの方々には本当に感謝しています。
- ・悪い活動もあるので、その選別の必要もあります。
- ・活動するには時間とお金に余裕がないとできない。

- ・災害ボランティアに参加するために必要となるボランティア保険の加入。あまり知られていないような気がします。
 - ・活動内容がよくわからないものが多く、寄付をつる詐欺と区別がつかないで良い印象がない。
 - ・本当に良い人や良いNPOがあると思いますが、自分達の利益や立場を利用する人もいるのが事実です。
 - ・どこへ行っても同じような人が利権を持っているように振る舞っているのを見たことがあり、あまり参加したくないのが本音のところでは。
 - ・今年開催の和歌山国体のリハーサル大会にボランティアで参加しました。何か社会貢献したいと思い希望しました。今後も何かあれば参加したいです。
 - ・NPOやボランティアは時間や気持ちなどに余裕がないとできないことだと思います。子育て奮闘中の私には今全くできないことだと思っています。
 - ・組織だったボランティアの一員として活動をした事もありました。市民生活をする上で築いた事柄を行政機関にメール等でお伝えする事にしています。
 - ・NPOの収支についてあまり良い噂を聞きません。補助金を受けているのですが、収支の指導もされたら良いと思います。中味のない中、外枠だけができあがってはいないでしょうか？
 - ・NPO活動はあった方が良くと思うが、具体的な内容がわからない。私が知らないだけかもしれませんが、活動内容をPRしてもらえると利用や参加がしやすくなると思います。
 - ・NPO活動で営利を伴っている団体もあり、本当のボランティア活動とは言えない。NPOを認定する場合しっかり審査をすること。(クラブ活動で十分。)
 - ・NPOを目的とした組織に入っていたが、会費等が用途不明瞭で退会しました。NPOは残念ながら、同様の団体が多いと聞いています。信頼できる組織を見分ける方法がありますか？
- 同じような趣旨の団体は、一つにまとまるよう行政指導できれば。参加側からすると、同じような団体が多いと混乱するし、ある程度行政の指導があった方が安心できる。
- ・ボランティアという形を取らなくてもできる。ちょっとした気持ちの問題です。和歌山市の方は少し意識が弱い。子供も見守り隊から掃除までどこにでもあることに参加すればよい。
 - ・既存のNPOやボランティア活動の活動状況を簡単にわかるようにしてほしい。また、新規の立ち上げ方法や行政からの支援内容をより広く広報してほしい。
 - ・人に必要とされるボランティアは感心できますし、もっとあればいいのかなあとは思いますが。人道的なボランティアはこれから必要だとも思いますので。
 - ・NPOは敷居が高い気がしてなかなか難しいように感じます。サポートセンターなどの告知を増やし、より活動しやすい環境を整えていただければ幸いです。
 - ・税収が悪化の一途をたどる中で、市民活動が不必要なはずがない。自分には関係ない、やりたくないという否定的な意見もあるだろうが、活動的な市民に必要な支援を行い良いまちを維持していくべき。
 - ・県の社会福祉協議会の「シニアリーダーカレッジ」に参加していますが、リーダーとして活動するには、人格、特技、資格等がないとサロンは立ち上げにくい。一個人としてはいつでも参加します。
 - ・時間がたっぷりある世代がたくさんいるのですが、やはりきっかけがないのが現状。ボランティアは特別なことのように思われるので、しばらくは情報発信をして、誰でも参加して楽しめるのだとお知らせしてください。
 - ・ボランティアというと、難しいと考える方が多いと思います。もっと誰にでも出来る事もあるという事をアピールしたら増えるのでは？勉強が必要な部分もありますが、その勉強会もしているのに知らない人も多いです。
 - ・NPOやボランティアへの興味はありますが、本当に中身がわからないのが本音です。時間が空けば出来る事や方法を知れば良いと思います。小さな空間での自治会ではない別の方法を考えて行かなければならない時期に来ていると思います。
 - ・そもそもボランティア活動をNPO法人にする必要があるのかがよくわかりません。情報の拠点や会議室があるのは便利なのですが…。私個人は、公園やバス停の掃除を気がついた時にしていますが、周りの目は冷やかです。中には市の職員と間違えて「あっちもゴミ落ちてたよ」などと言われることもあります。そういう時のためにボランティアの腕章みたいなものがあればいいなと思います。
 - ・趣味で銭太鼓を習っています。時々老人会などから出演を依頼され出かけます。また、介護予防のため「わかやまシニアエクササイズ」をしています。出来るだけ多くの方に広め、健康寿命を延ばせるようにと思っています。
 - ・時代はNPO活動が有効に働くための下地は出来ている。しかし、行政の担当者が3年程度でころころ変わる。NPO団体側からすると担当が変わる度に一から出直しになり、より高い段階に進めないのが歯がゆい。いい加減に3年ころころをやめて欲しい。
 - ・NPO法人の理事らが多くの報酬を受け取って、他の会社の営業部分の仕事するのはおかしいし、行政がその後押しをして税金を使うのはいかがなんでしょう？NPO.ボランティアサロンなんて必要無いでしょ！県はNPOセンターを作って指定管理者制度で特定NPOに税金掛けて管理させているのもおかしくないですか？NPOにそう言う事をさせるなら一般企業に請け負わして社会競争理論をさせるべきではないでしょうか。

・NPOやボランティアと言っても「自発的」「公益的」「非営利」ということだけが共通で、その活動は様々なのだから、一つにまとめて同じように扱おうとするのは無理があるように感じる。このアンケートから読み取ると「ボランティア」という名称を使うより「チャリティー活動」「福祉事業」などを使った方が内容に合っているのではないかと感じた。

・興味ある分野についてやってみたい気持ちはあるが、能力的に無理だと思い行動を起こさずじまい。出来る内容であっても継続的に活動するのは敷居が高いので(普段の生活で精一杯という時間的な問題)、単発で気軽にできるものがあればやってみたい気持ちはある。

・以前NPOを立ち上げようと思った事がありますが、実際に立ち上げた人から、書類や事務に追われるだけで大変だと聞きました。別の理由でその時は立ち上げませんでした。現在活動していることがボランティアなので、NPOにこだわらなくてもいいかと思うようになりました。

☆多くのご意見・ご回答ありがとうございました。

アンケート調査の結果により、より多くの方にボランティアやNPOを知っていただき、より多くの方にボランティアサロンを利用していただけますように、又、相談窓口の充実を図るべく課内で検討してまいりたいと考えております。

今後ともご協力いただけますよう、お願い致します。